

G X（脱炭素化）の取組評価シート

ゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーや高効率な省エネルギー機器の導入促進などに取り組み、環境負荷の少ないライフスタイルの普及や行動変容を促すことで、将来の世代も心身ともに健やかに暮らせる持続可能な社会づくりを進めます。

脱炭素化を地域の成長機会として捉え、市民・企業・行政が主役となって、連携しながら取組を進めます。また、企業が世界的な潮流に遅れることのないよう、脱炭素に向けた取組を支援していきます。

主な取組の「成果」

▶子ども・子育て、教育

- ・保育施設において、緑のカーテンの設置や節電・節水、廃材を利用した作品制作をするなど、環境配慮への取組及び啓発を行いました。
- ・特定の教科等に留まらず、学校教育全体の中で、各教科の特質に応じて環境教育に取り組みました。
- ・小・中学校の照明のＬＥＤ化及び太陽光発電設備の設置を実施しました。
- ・学校給食センターにおいて、残った食品の一部をバイオマス燃料化するなど、ごみの減量化に取り組みました。
- ・青少年の自然体験教室「びわっ子クラブ」を開催し、エコバッグ作りや収穫体験などを通して、環境意識を啓発しました。

▶健康、福祉

- ・保健センターの空調機修繕において省エネ型の機器を導入しました。
- ・福祉会館や余熱利用施設等において、再生可能エネルギーの利用と省エネの取組を推進しました。
- ・高齢者施設等に向けて、脱炭素化に資する取組の啓発を行いました。
- ・障がい福祉事業所に向けて、脱炭素化に資する取組の啓発を行いました。

▶共生、文化芸術、スポーツ

- ・食品ロス削減や自然環境美化に取り組む市民活動団体等の活動を冊子で紹介するとともに、特徴ある事例を表彰するなど、自発的な活動への関心を広め、継続的な活動となるよう支援しました。
- ・美術館において、環境保護、ＳＤＧｓに関連性のある展覧会及びワークショップを開催しました。
- ・博物館において、自然や環境の視点を取り入れた体験学習や講座などの教育活動を開催しました。
- ・公民館において、再生可能エネルギーの利用と省エネの取組を推進しました。
- ・スポーツ施設において、再生可能エネルギーの利用と省エネの取組を推進するとともに、照明のＬＥＤ化を実施しました。

▶安心・安全、都市基盤、交通

- ・環境負荷に配慮した省エネ性能や環境性能に適合した民間開発を「平塚駅周辺地区アクションプラン」により促進しました。
- ・指定避難所等にソーラーパネル付き大容量ポータブル蓄電池を配備したほか、事業者と災害時の電源確保を目的としたＥＶ貸借に関する協定を締結しました。
- ・消防庁舎において、再生可能エネルギーの利用と省エネの取組を推進しました。
- ・防犯街路灯の高性能化を継続実施したほか、自治会等が設置するソーラー型防犯カメラへの補助を行いました。
- ・エシカル消費者教室の開催やＳＮＳを活用した啓発に取り組むなど、エシカル消費を推進しました。
- ・ツインシティ大神地区において、土地区画整理組合や立地企業等と連携し、太陽光パネルの設置や敷地内緑化など、環境と共生する都市づくりを推進しました。
- ・自家用車からの転換を図るため、新たなサイクル&バスライド駐輪施設を整備しました。
- ・自転車の走行環境を向上させるため、幹道３号八幡愛甲線等に自転車走行空間（矢羽根表示）の整備を行いました。
- ・市内路線バス事業者に対して、電気バスの導入支援を実施することで、ディーゼルバスからの転換を促進しました。
- ・交通の円滑化を図るため、幹道２２号真土金目線等の交差点改良と歩道整備を進めました。
- ・馬入ポンプ場の照明器具のＬＥＤ化を実施しました。
- ・市民団体に対して、花苗の配布や交付金の交付等の支援を実施することで、緑化推進を図りました。
- ・総合公園等において、再生可能エネルギーの利用等を推進しました。

▶産業、雇用、環境

- ・波力発電やブルーカーボン等の新技術、製品開発等の事業化に向けた研究の支援をすることで、研究開発を促進しました。
- ・脱炭素に関する専門アドバイザー派遣、設備導入の経費の補助や融資をすることで、企業の脱炭素化を促進しました。
- ・金融機関や関係団体と連携し、市内の中小企業を対象とした脱炭素経営セミナーを開催しました。
- ・認定農業者等へのスマート農業の導入を支援することで、省力化や生産性の向上を促進しました。
- ・公共工事等における入札において実施するインセンティブ発注の制度を一部見直し、脱炭素への取組を条件とするよう変更しました。
- ・「ひらつかＣＯ２ＣＯ２（コツコツ）プラン」や学校・園における「わかば環境ＩＳＯ」の推進など、地球温暖化対策の普及啓発を行いました。
- ・事業者と連携し、省エネ住宅であるＺＥＨの宿泊体験会を実施したほか、ＺＥＨ導入補助金を交付しました。また、市ホームページでＺＥＨに関する国や県の補助制度を周知しました。
- ・民間事業者との連携により、ＥＶを使用した給電デモンストレーションを行ったほか、市役所本館駐車場のＥＶ用急速充電器を事業者負担により、充電時間の短い機器に更新しました。

- ・環境事業センターにおいて、焼却熱を利用して発電した電気を使用するとともに、余熱利用施設に熱供給を行いました。